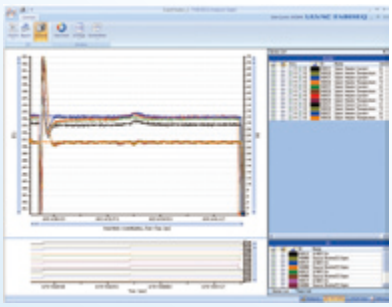
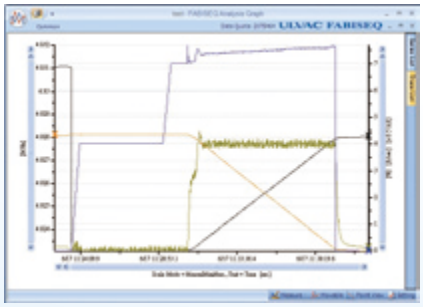
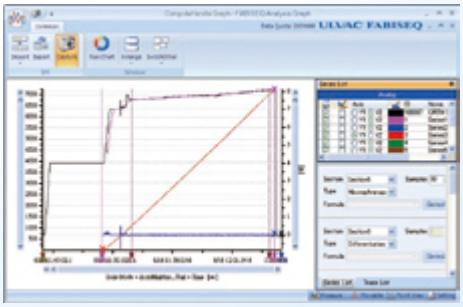
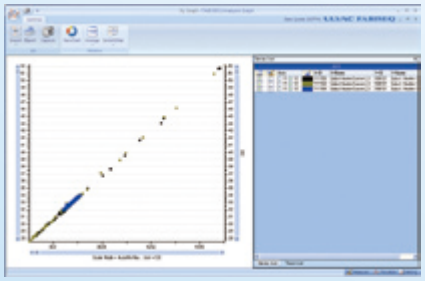
装置診断システム【FABISEQ】

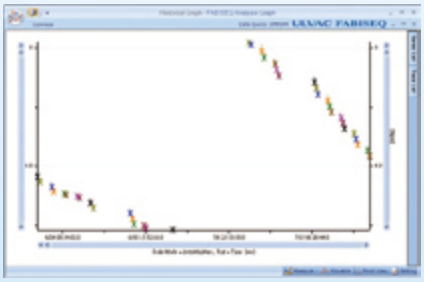
FABISEQ（ファビセック）は、プロセス装置のデータを収集、グラフ表示するソフトウェアです。
装置データの見える化により、不良品が発生した原因・経緯の調査、プロセス安定性の観察を支援します。

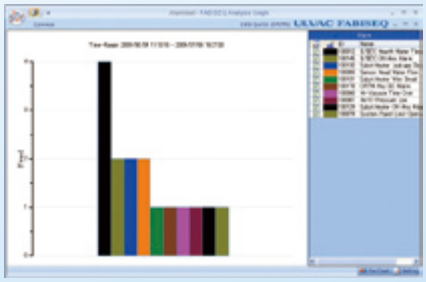

ロット毎のデータを重ねてプロセス安定性を評価


複数デバイスのデータを並べて動作タイミングをチェック


データを演算して多角的にプロセスを評価


不良に起因するパラメータを相関関係から見つける


ある期間データを収集して経年変化を評価


アラームの発生頻度を調査

特　長

- お手持ちのパソコンへ簡単にセットアップできます。（当社製･装置制御システムGPCS2000シリーズは簡易アドオン可能）
- これまで見ることができなかったプロセスデータをイベント信号と併せて見ることができます。
- 過去と現在のプロセスデータを重ねて観察できます。
- 収集データと画面を簡単にエクスポートしてレポートへ活用できます。
- 収集データやレポートはイベント信号と組み合わせ、電子メールとして自動配信することができます。

用　途

- プロセスの繰り返し安定性を観察
- 製品不良の原因調査
- 装置の早期立ち上げに寄与
- ノートパソコンに搭載して、簡易ロガーとして装置の定期点検、プロセスの定期診断
- 装置故障の早期発見と復旧時間短縮に寄与

ULVAC SOLUTIONS

装置診断システム【FABISEQ】

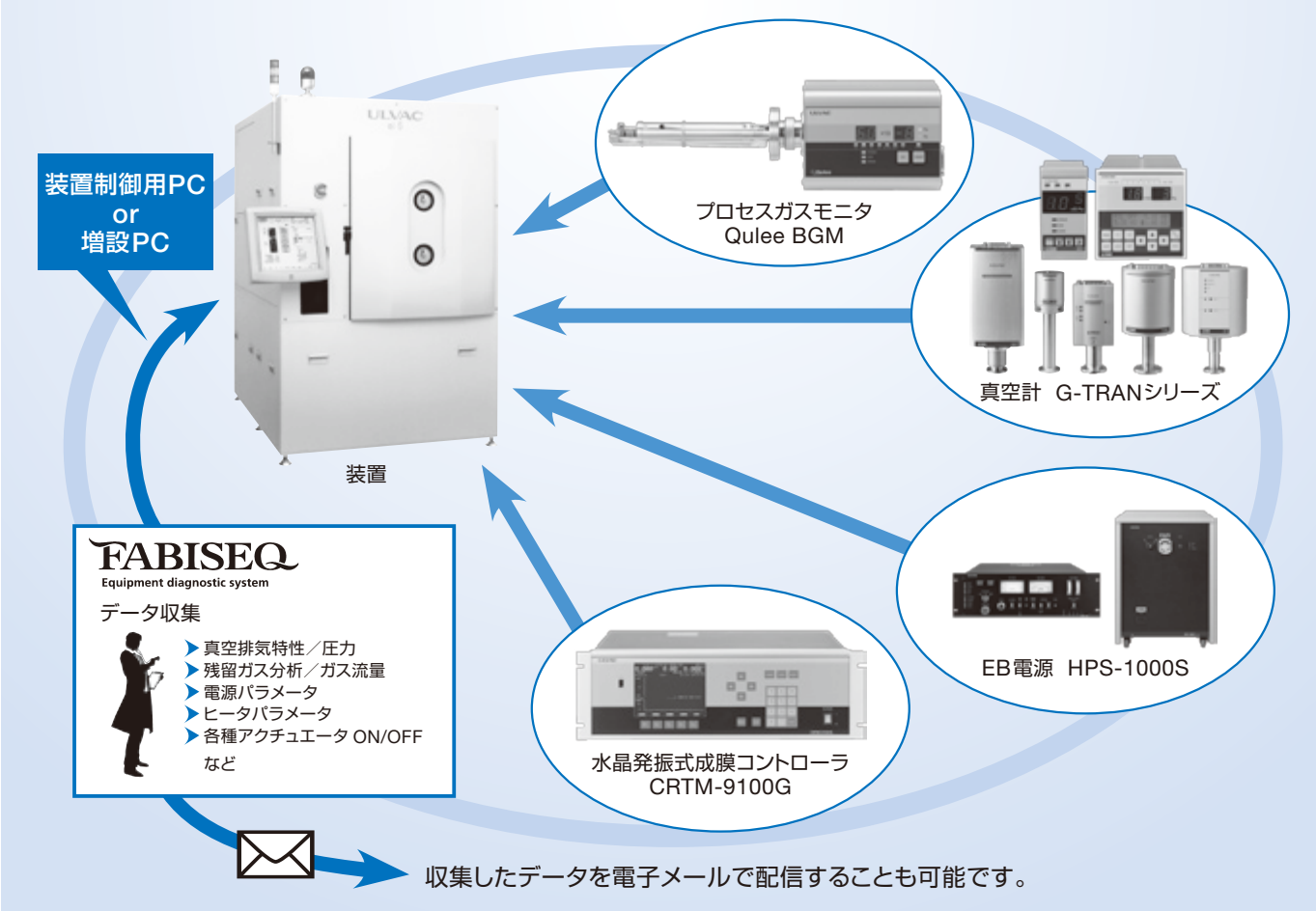
仕　様

インターフェース	弊社装置PC-PLC間通信システム、またはオプション（別売）のOPC Serverにて三菱電機社製PLC、オムロン社製PLC、他PLCに対応可能。
収集構成、点数	Group: Max8　Alarm: Max256　Event: Max256　Trace: Max16　IO: Max128　Analog: Max128
測定間隔	100ms ～ 10minの範囲で設定が可能です。 ※収集構成やお客様装置の制御仕様により、測定間隔の制約を受ける場合があります。
グラフ表示	ヒストリカルグラフ　IO: 8点／グラフ　Analog: 16点／グラフ リアルタイムグラフ　IO: 8点／グラフ　Analog: 16点／グラフ
機　能	データの重ね合わせ、データ計測、データ比較、時間計測、XYグラフ、グラフ拡大･縮小、スケール変換･調整、スパン調整、グラフシフト、演算（移動平均･微分･積分データ間の四則演算）、統計（最大、最小、平均、分散）、ロット検索、アラーム検索、イベント検索、アラーム回数集計、CSVインポート、CSVエクスポート、画面キャプチャー、レポート作成、自動メール配信、異常監視

動 作 環 境

OS	Microsoft Windows XP® （SP2以上）、Windows 7®
CPU	Intel® Pentium® 4　1GHz以上
メモリ	1GB以上
HDD	空き容量200MB以上（保存するデータ量に依存、推奨120GB以上）
ディスプレイ	解像度1024×768ピクセル以上、表示色High Color（16bit）以上

接 続 イ メ ー ジ



株式会社アルバック 規格品事業部　www.ulvac.co.jp

国内販売：　アルバック販売株式会社
■東日本営業統括部　TEL 03-5218-6011(代)
■西日本営業統括部　TEL 06-6397-2281(代)
海外販売：　株式会社アルバック
■規格品事業部　TEL +81-467-89-2261

お問い合わせ

▶当カタログの記載内容は性能向上等の目的により、予告なしに変更することがあります。

7804N/2013086000TL